

郡上市

2020.11

第 66 号

議会だより



題字「郡上市」は、
郡上市立高鷲小学校6年生
ながせ はなこ
永瀬 華子さんの
作品です。



高鷲小5・6年生の「フロントアクト」(盛り上げ)

より開かれ
信頼される
議会をめざして

目次

新型コロナ緊急提言	2
令和元年度一般会計決算認定	4
決算認定特別委員会Q & A	6
9月定例会 主な内容	8
委員会活動報告	10
一般質問 郡上の課題を問う	12
クイズコーナー、編集後記	20

に関する“12の提言”

第2次

6 高齢者及び障がい者の外出支援

新型コロナウイルス感染防止のため、公共交通機関で外出をためらっている高齢者の公共交通機関以外の交通手段を利用した時の交通費の支援を行うこと。また、感染により重篤化の恐れのある疾患を持つ障がい者に対する交通費助成の拡充を行うこと。

7 新たな事業活動に対する助言と感染防止対策にかかる費用の助成

新たな生活様式に合った営業活動を維持するため、各業界が定める業種別ガイドラインに沿った衛生管理マニュアル作成の指導やマニュアルの認定を行うこと。また、経済的な影響下の状況を受け、感染防止対策にかかる費用の助成を行うこと。

8 積極的な市場の拡充

顧客を呼び戻すための積極的な営業活動を誘発するため、農林水産業を含め、各種の媒体へ広告を出すなどのプロモーション活動に対する助成を行うこと。

9 就労系障害福祉サービスを行う施設の支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、就労系障害福祉サービスを行う施設で生産する商品の売り上げが減少している。施設の売り上げが減少することに伴い、利用者に支払われる賃金も減少し、施設の運営が厳しくなることから、売り上げの減少分を補てんするなど、継続した支援策を講じること。

10 教職員の負担軽減のための人材確保及び児童・生徒・教職員への精神面の負担軽減

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、学校内の消毒を教職員が行っており、負担が増加しているため、スクールサポートスタッフを確保するなどの環境整備を整えること。また、長期間にわたる新型コロナウイルス感染症の影響での児童・生徒・教職員の精神面での負担増に対して、メンタルケア体制の充実と徹底を図ること。

11 家庭での光通信環境整備に対する補助

オンライン授業に備えた家庭における光通信環境の整備促進とWi-Fi環境整備に必要な費用の助成及び光通信にかかる市内のケーブルテレビ事業者に支払う月額固定費の減免を行うこと。

12 情報通信技術に関すること

郡上おどりや白鳥おどり、白鳥拝殿踊り、白山文化等の情報発信を行うとともに、イベント等の動画配信活動に対する支援を行うこと。また、新しい生活様式が求められる中、テレワークやリモートワーク、サテライトオフィス等の集積地として、その需要動向や受け入れ態勢の整備内容、企業や個人技術者への売り込み方法について早急に調査研究を行うこと。

新型コロナウイルス感染症対策



7月21日に議長、副議長、議会運営委員で市長に新型コロナウイルス感染症対策に関する第2次政策提言を行いました。

提言の詳しい内容については、郡上市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

新しい生活様式を取り入れた感染拡大防止と、冷え込んだ市内の経済や産業を回復させるための施策を講じる提言（第2次）を次の通り取りまとめたので、市民の安心・安全な日常生活を一刻も早く取り戻すべく、引き続き全力で取り組まれるよう要望する。

1 避難所、教育施設及び社会福祉施設にウイルス除去機能付き空気清浄機の導入

感染防止対策として、避難所や幼・保育園、小・中学校といった教育施設、老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設などの社会福祉施設にウイルス除去機能付き空気清浄機を設置すること。

2 きめ細かい医療提供体制の構築

感染症への対応として緊急に必要となる医療提供体制構築のため、発熱外来の設置、医療機関への消毒液やマスク等の配布、医療従事者への宿泊休養施設の提供、看護師OB・OGの雇用の体制を構築すること。

3 構造改革支援事業の充実

新たな事業を考える経営者に対し、新たな事業への進出と雇用を守るため、事業承継の取り組みと組み合わせ、構造改革支援事業のチャレンジ融資の一層の充実を図ること。

4 休業協力金の対象外となった事業所、個人に対する救済

市では独自に緊急事態宣言の期間延長に伴い引き続き休業等に取り組まれた事業者に対し「郡上市新型コロナウイルス感染症拡大防止休業協力金」を支給した。この他にも各種支援策がとられているが、各種支援策が有効に活用されているか現状を調査し今後の支援策を検討すること。

5 新型コロナウイルス観光緊急対策事業の他業種への拡充

観光事業者には固定費の一部を補助しているが、市内の観光事業者以外の業種においても新型コロナウイルスの影響により経営は悪化しているため、対象業種の拡大を図るとともに対象期間の延長を行うこと。

令和の時代へ躍動!!

令和元年度 決算認定

一般 会計	歳入	303億7839万円
	歳出	291億2716万円
特別 会計	歳入	137億8612万円
	歳出	131億1345万円
水道事 業会計	純利益	6405万円
病院事 業会計	純利益	△2億9171万円

※金額の△はマイナスを表しています

決算の概要

令和元年度の一般会計決算額は、歳入303億7839万円、歳出291億2716万円となった。平成30年度と比較して、歳入で7億4847万円の増、歳出は8億5647万円の増となった。市税は、全体で3964万円の減となり、交付税は、全体で1億8865万円の減となった。国庫支出金は、全体で2億6732万円の増、県支出金は、全体で3億9542万円の増となった。財政健全化の指標である実質公債費比率は、前年より0.3ポイント低い12.4%と少し改善した。しかし、将来負担比率は、前年より15.8ポイント増の85.3%となった。

記念事業



全国から集まった多くの人が新元号を祝いました

- 合併15周年を祝い「ご当地ナンバープレート」の制作
- 合併記念冊子の作成
- 新元号を祝い「新元号／徹夜で祝う郡上おどり」の開催支援

暮らしの安全・安心

- 過去の災害やその復旧に関する資料のパネル展示や防災シンポジウムの開催
- 市内情報通信基盤の強靱化のため、ケーブルテレビ伝送路の光化整備
- 豪雨災害に備え主要河川7か所に危険管理型水位計の設置
- 災害時の避難所の充実整備

商工観光

- 「郡上八幡ホテル積翠園」のリニューアルオープン



客室は8室から21室に増え、和洋折衷のデザインに

- 大島工業団地の造成事業と市道大平線の改良
- 郡上八幡北町重要伝統的建造物群保存地区の無電柱化整備
- 町家の紹介やまちづくり活動の拠点と

合併15年を経て、新し



研修室では短歌大会やフォーラムなどのイベントも開催されます

教育・文化・スポーツ

- して「郡上八幡町屋敷越前屋」の整備
- デジタルマーケティングに対応した観光WEBサイトの構築支援及びアウトドア・スポーツツーリズムの活性化
- 今後の経済対策や観光施策などに役立てるため郡上市産業連関表を作成
- 市内企業の人材確保のためU・J・ター就職奨励金などを活用した雇用対策
- 消費税引き上げによる影響緩和のため、プレミアム付商品券事業を実施し1万3717冊を販売
- 城下町の歴史文化を伝える拠点として「郡上八幡まちなみ交流館」の整備
- 地域文化の振興拠点として「短歌の里交流館よぶこどり」の整備

- スポーツ団体や観光事業者、行政などが一体となってスポーツを軸とした地域振興推進のためスポーツコミッションを設立



合宿や大会では国境を越えた交流がありました

- 学校規模適正化計画を策定し、早期に小学校統合を目指す大和地域では、統合について地元住民と協議し合意
- 篠脇城跡・東氏館跡調査検討委員会を設置し、調査に着手
- 児童・生徒の熱中症対策・教育環境の改善のため、市内小中学校の教室などにエアコン設置
- オーストラリアとのスポーツ交流に向けた関係者の市内招致
- コロンビア共和国・マダガスカル共和国ラグビー女子チームの合同合宿実施及び郡上グローバルラグビー女子セvens大会の開催

農林水産

- 郡上鮎のブランド化向上に向け、東京豊洲市場へ出荷開始



郡上漁業組合において豊洲市場初出荷を記念する出発式が行われました

その他

- 年度末における新型コロナウイルス感染症の拡大防止への対策強化と支援事業に着手
- 第2次総合計画の後期基本計画に着手
- 市民を中心とした検討会議や市民説明会などでの意見を踏まえて公共施設適正配置計画を策定
- 新たなふるさと納税サイトの導入や新規アイテムの大幅増により、ふるさと寄付額が前年の154%に拡大

決算認定特別委員会 主な審議内容 Q&A

委員長に田中やすひさ委員、副委員長に野田勝彦委員を選出し、9月11日、14日、15日の3日間にわたり審査しました。本会議最終日に委員長報告をした後、採決し認定しました。

総務費

問 電気料の節約の取り組みとして、電力供給事業者を利用しているか

答 中部電力以外の電力供給業者から電力供給を3年前から実施している市の施設がある。今後、経済性を確保できるものについて、入札への切り替えを図っていききたい。

問 郡上カンパニープロジェクト推進事業のこれまでの成果とこれからの見通しは

答 大都市部などから郡上への移住、定住を目的とした非常にユニークな事業である。真剣に取り組んでおられ、今後その取り組みが実際の仕事作りと定住に繋がるようサポートしていきたい。

問 防災行政無線放送の屋内・屋外の管理状況は

答 防災情報をきちんと伝えるために、不調があるものについては、その都度業者に連絡し個別

に対応しており、今後も適切な管理に努めたい。

問 旧越前屋の活用状況はどうか

答 町屋敷越前屋は昨年11月にオープンし、郡上市の「もの作り」紹介やイベント、月貸しも行っている。3月31日までの入館者数は1万2889人であった。



多くの人でにぎわう町屋敷越前屋

民生費

問 一人暮らし高齢者の方の緊急通報システムは固定電話対応に限るのか。他に何か手立てはないか

答 警報緊急通報システムはセンサー装置を介する関係上、固定電話が必要になる。金融機関・郵便局・宅配業者など市内292の事業所と見守り連携協定を締結して、高齢者の見守りを行っている。

問 胃がん検診で内視鏡を勧められたが、市民病院は予約で一杯である。受診機関を増やすことは

答 胃カメラは5機関(市民病院・白鳥病院・八幡病院・鷺見病院・和良診療所)で同じ条件で実施しているの、そのことを丁寧に説明していきたい。

問 がん検診の受診率は

答 胃がん検診23.7%、子宮がん検診31.8%、乳がん検診48.9%、大腸がん検診52.1%、肺がん検診39.4%である。

衛生費

問 不法投棄防止に、ごみを回収しただけでは対策にはならないのでは

答 ごみを回収後に不法投棄防止看板を設置し、不法投棄のごみの所有者が判明した場合、郡上警察署に処置をお願いしている。2件の実績があった。回収量と

しては横ばいである。

農林水産費

問 学校給食の地産地消推進に向けての数値目標は

答 市内農産物の使用率は、昨年は22.8%であった。今後30%を目指し頑張りたい。

問 豚熱の状況は終息したのか

答 現在もイノシシの陽性は確認されている。豚に対しては、昨年からワクチン接種が開始され現在は通常通り出荷されている。

商工費

問 空き店舗利用支援は移住者支援ばかりと捉えられているが

答 空き店舗については、移住者のみが対象ではなく、地元の方にも補助金を活用していただき、応援をしていきたいと考えている。

問 令和元年度の開業と廃業の状況と新商品開発支援事業の状況は

答 商工会員の増減は、新規会員37件、廃業が38件である。新商品開発支援事業については実績がなかったが、相談を行いなから支援制度のPRを行いたい。

教育費

問 給食費負担金の未納分完済に向けての徴収状況は

答 収納率は平成30年度が98.92%、令和元年度が99.21%である。本年から、債権管理室ができたため、そういった部分も含めて管理し、収納を促す努力を続けていく。

問 「郡上八幡まちなみ交流館」及び「短歌の里交流館よぶこどり」の運営形態は

答 観光施設の指定管理ではなく、文化教育施設として当面市の直営として管理していく。

問 授業の充実を図るための教材用備品購入はどのようなものを購入したのか

答 小学校体育授業で使用する跳び箱・マット・ロイター板など高価で老朽化した備品の購入である。

問 夢づくり教育事業で、8中学校の代表20名はどのように決められているのか

答 中学生のリーダーを育てる目的の事業であり、選出については論文を基に厳正な審査を行い、20名を決定している。

問 白山文化博物館の利用状況は

答 令和元年度は3285人である。いろいろな文化施設と連携

し、紹介しながら、利用者数が向上する企画を考えているところである。

問 大和町の篠脇城跡の調査について

答 ヘリコプターを使い赤色立体図という、木があっても地形が読み取れる図画を作成している。篠脇山の頂上部分を試掘し、調査を始めていく。再来年度末に調査報告書を作成する。



調査が進む篠脇城跡

総括質疑

問 納税義務者の滞納について、滞納したくてしてるわけではなく事情がある方もあるのでは

答 債権管理室を設けたので、まずは相談していただきたい。

令和元年度 歳入歳出決算審査意見書 (抜粋)

普通会計の経常収支比率は80%を超えないことが望ましいが、87.8%となっている。また、実質公債費比率は12.4%、将来負担比率は85.3%となっている。財政調整基金は19億5477万円、減債基金は3899万円となっている。

昨年度の決算審査において、滞納者の税や使用料などを一元管理する専門の部署の新設について指摘したが、令和2年4月に「債権管理室」が設置されたことで、全庁的な市債権の管理と回収対策が強化され、市の債権管理等の一層の適正化が図られるものと期待される。

新型コロナウイルス感染症により、市内の経済は大きな影響を受けており、来年度の税収にも大きく影響すると考えられる。人口減少が進む中、また、限られた職員数の中で、限られた財源を有効に活用していくため、引き続き予算編成にあたり研究・検討されたい。

病院事業会計

両病院とも前年度に引き続き赤字決算となり、大変厳しい状況となっている。

業務の実績については、入院患者数は両病院とも減少しているが、郡上市民病院は一般病床の入院患者数は増加している。外来患者数は両病院とも減少している。

両病院とも地域の中核的な施設としてサービスの向上とコストの縮減に努めるとともに、医師・看護師等の医療従事者の確保に努められ、医療水準の維持・向上と医療の安全・信頼性の確保に努められたい。

水道事業会計

業務実績は、給水人口、年間排水量ともに減少となったが、給水戸数は僅かに増加している。有収率は81.8%となっている。

水道事業を取り巻く環境は、人口減少に加え、節水機器の普及などにより、ますます厳しくなることが予想される。今後、適正な料金の見直しを視野に入れ、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、より効率的な経営を展開されるとともに、本来の目的である良質な水の安定供給に努められたい。

郡上市監査委員

大坪 博之
尾村 忠雄

9月定例会

令和2年度一般会計補正予算

6億4219万9千円増額承認
(全会一致)

主な補正予算の内容

- ワークेशन推進事業
(ワーク+ヴァケーション) 推進の調査及び誘致 (新規)
2202万2千円
- 高齢者タクシー等利用助成事業
コロナ緊急対策として高齢者のタクシー利用補助 (新規)
823万2千円
- 新型コロナウイルス対策
赤ちゃん応援特別事業
特別定額給付金 (10万円) の対象外になる新生児に相当額の商品券を支給 (新規)
2100万円
- 新型コロナウイルス
観光緊急対策事業
観光事業者支援プレゼントキャンペーン事業
961万6千円
- 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業

スノーリゾート事業の支援 (新規)
851万6千円

● 小・中学校管理事務経費

新型コロナウイルス感染症に対する環境整備
3800万3千円

● 小・中学校校舎等整備事業

特別教室にエアコン設置、体育館トイレ改修など
1億3141万7千円

● 予防接種事業

65歳以上の高齢者向けインフルエンザワクチン市負担分の助成拡充及び妊婦向けインフルエンザワクチン接種に対する助成を新設
1582万9千円

● 雇用対策推進事業

郡上市緊急雇用維持助成金の申請者増による増額
1200万円

令和元年度決算認定

● 一般会計及び22特別会計の決算を認定
(全会一致)

主な条例の一部改正

● 郡上市体育施設条例の一部改正

美並町のまん真ん中広場のシャワー棟新設にともなうシャワー室使用料を規定
一人一回110円

● 市手数料条例の一部改正

行政手続きにおける情報通信技術に関するデジタル手続法の施行により

① 住民票の写し等の交付

② マイナンバー通知カードの新規

および再交付が廃止され、個人番号通知書へ移行

①・②ともに手数料300円
(以上全会一致)

物品売買契約の締結について

● 小・中学校全児童・生徒用タブレット端末2078台購入
9303万2千円
(全会一致)

専決処分した事件の承認について

● 国民健康保険条例の一部を改正する条例
コロナウイルス感染症の影響で収入減少に係る減免申請書の提出期限の特例を規定

● 介護保険条例の一部を改正する条例
コロナウイルス感染症の影響で収入減少が見込まれる第1号被保険者に係る減免申請書の提出期限の特例を規定
(以上全会一致)

報告事項

● 指定管理5事業者の令和元年度経営状況報告

請願・陳情

● 請願第3号

消費税の大幅引き下げを求める意見書を国に求める請願書について
(不採択)

● 陳情第1号

「コロナ社会」での必要な医療提供を継続するための「地域医療機関等への機能継続交付金」の創設を求める陳情
(継続審査)

● 陳情第2号

「新型コロナウイルス感染症に係る新たな支援制度の創設を求める意見書(案)」の採択を求める陳情
(継続審査)

意見書

● 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

● 国土強靱化対策の継続・拡充、並びに地域の実情に応じた経済対策と社会資本整備の推進を求める意見書
(以上全会一致)

国へ意見書を提出しました

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う

新型コロナウイルス

地方財政の急激な悪化に対し

感染症が世界的に蔓延

地方税財源の確保を求める意見書

し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災・雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、左記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

【記】

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 地方税に関して、新たに国が国民に支援施策を行う場合は、十分に地方と協議するとともに、地方財源に減収の影響を及ぼす場合には、その不足財源について国が補填を行うこと。

国土強靱化対策の継続・拡充、並びに

郡上市では、香

地域の実情に応じた経済対策と

高い文化や歴史、緑

社会資本整備の推進を求める意見書

豊かな自然、先進技

術の工業製品といった様々な魅力をさらに磨き上げるとともにそれらを市内外に発信することにより、「観光立市郡上」の推進を図ることを政策の旗印に掲げ、地域の活性化に向けた取り組みを進めている。

年間約600万人の観光客が訪れる本市においては、「東海北陸自動車道」を始め整備が進められている「中部縦貫自動車道」や「濃飛横断自動車道」、「一般国道156号」のほか国道市道などのインフラ整備は人・モノの交流に重要である。加えて、本市の地勢は典型的な中山間地であるため、近年発生する記録的な豪雨などの災害発生時における避難経路の確保といった市民の安全・安心な生活に資するためにも着実に取り組んでいく必要がある。

令和2年9月8日内閣府発表によると新型コロナウイルス感染症の影響でGDPは戦後最悪の28.1%減（2次速報値）と大幅な落ち込みがあり、わが国経済への影響が甚大である。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正の検討に向け、これまでにない思い切った地方財政措置を求めるとともに、左記の事項について強く要望する。

【記】

1. 頻発、激甚化する災害に対し、地方自治体が国土強靱化地域計画を推進するとともに地域高規格道路をはじめとした社会基盤整備を計画的かつ着実に実施するため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が令和2年度までの限定的な措置のため、対策の継続や対象事業の拡大を早期に決定すること。
2. 地方の資金調達に配慮した経済対策の迅速かつ円滑な実施のために平成21年度補正予算で行われた「地域活性化・公共投資臨時交付金」のような交付金制度を創設し、防災・減災、国土強靱化の取組を一層加速させ、地方独自の発想で公共投資を行うことを通じて需要の拡大を図ること。

総務常任委員会

総務常任委員会勉強会

令和2年7月28日、郡上市総合文化センターで、勉強会を開催しました。

講師に、名城大学名誉教授の海道清信氏をお招きし、人口減少に直面する中山間地域で広く取り組まれている『小さな拠点づくり』について、市の事例を踏まえながら学び、今後の市のまちづくりや地域運営の仕組みについて考えました。議員17名、市職員27名の合計44名が参加しました。

急速な人口減少の中、持続可能な地域づくりに向けての更なる取り組みを推進していきます。



感染症対策を万全にして実施

石徹白・六ノ里地域づくり協議会との意見交換会

令和2年8月20日、石徹白農村センター及び六ノ里善勝寺にて、地域づくり協議会と意見交換を行いました。それぞれの団体から、地域づくりの現状や課題、解決方法について、意見が活発に出されました。

先行的な取り組みをモデル的に支援していく必要性を感じました。



石徹白での意見交換の様子

移住定住推進に関する意見交換会

令和2年9月23日、市役所で、移住定住推進機構及び移住者との意見交換を行いました。

小グループに分かれての意見交換で詳細にお話を伺いました。

新型コロナウイルスを契機に「地方」の価値が再考される中で、本市の人口減少対策の今後を考えるための示唆をいただきました。

産業建設常任委員会

郡上建設業協会との意見交換会

令和2年9月24日、協会の正副理事長、理事、監事等と市、議会からあわせて29名が出席し、意見交換会を開催しました。

協会の役割と現状についての説明と、要望事項（中長期的なインフラ整備計画の策定と実施、道路の雨量規制解消のための整備計画の策定と実施、豪雨災害防止のための砂防施設等の整備）について説明を受けた後、意見交換を行いました。

各会員が災害復旧や除雪等、市民生活を守るために尽力されていることを再認識するとともに、各種計画



郡上建設会館において意見交換を実施

の早期策定と事業実施に向けた働きかけ及び財源確保の取り組みについて要望がありました。

郡上市商工会との意見交換会

令和2年10月6日、商工会の正副会長、理事等と市、議会からあわせて28名が出席し、意見交換会を開催しました。

新型コロナウイルスの市内事業者への影響と商工会の取り組みに関する報告に

加え、提案事項（創業者支援、事業継承対策、雇用促進対策、就業者対策）について説明を受けた

後、意見交換を行いました。

4月半ばから9月末時点までのコロナ禍を理由とする廃業、解雇は統計上はなく、市が先駆けて実施した商工会利子補給事業等の対策により影響を最小限に食い止めることができましたが、引き続き課題の把握や、提案された事項に対する対策の検討を行っていきます。



八幡防災センターで活発な意見交換が行われた

文教民生常任委員会

管内視察

令和2年8月21日、八幡町内において管内視察を行いました。

郡上市歴史資料館

施設の概要について説明を受けた後、施設の視察を行いました。

1階及び2階の収蔵庫には、郡上の歴史の根拠となる様々な資料が保管されており、委員からは、資料の種類や保存・管理方法についての質問がされました。



時期によって様々な展示が行われている市民のみなさまも大いにご利用ください

2階の展示コーナーでは、視察時は郡上おどりをテーマとした展示が行われており、郡上おどりの発祥や、

再来年に100周年を迎える郡上おどり保存会の発会について説明を受けました。

郡上八幡まちなみ交流館

今年の6月に開館した施設であり、平成24年度に八幡町北町の一部が「重要伝統的建造物保存地区（以下、伝建地区）」に選定され、八幡町の歴史や文化、まちなみ保存活動の紹介、また、学習に訪れる生徒や市内外の方の交流のため建設されました。



大きなパネルに写真が多く使われ、分かりやすく解説されている

1階の展示室には城下町郡上八幡の成り立ち、北町の大火からの復興、伝建地区の特徴などがパネルで紹介され、また、伝建地区を再現したジオラマが展示されており、委員からは、施設利用の状況や設備などについて質問がされました。

クイズの答え《第65号出題》

ご応募いただきありがとうございました。

いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ②5項目 問2 ②約41億円 問3 ③5万セット

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。

なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの

声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想を一部紹介します。

●郡上の観光の目玉である郡上おどりが中止になり残念です。来年以降どういう形で行われるのか注目しています。より良い郡上おどりが見られるようにお願いします。
美並 64歳

●郡上市のような地域で、万一感染者が出た場合、その本人や親族が市井で激しい非難にさらされることを懸念しています。こうした二次災害を防ぐため市議会のアクションを期待したいです。
白鳥 28歳

●山や川、道などのゴミを拾うようにしています。以前は子ども会などの活動で清掃しましたが、過疎化により参加者も少なくなってきました。このような取り組みも必要だと思います。
大和 60歳

●コロナ対策に関する市の迅速で手厚い支援に感謝しています。市民のために、あらゆる支援策により幅広い人々たちを支援される動きに、安心しております。

●コロナ禍で不安な中、自分ができることを意識しながら日々過ごしています。議会だよりでさまざまな取り組みを知りました。そして「がんばらねば」とも思いました。
八幡 37歳
大和 61歳

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。9月定例会の一般質問に14名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTubeでの一般質問録画配信も行っております。

●[郡上市HP](#)>[郡上市議会HP](#)>[一般質問録画配信](#) からご覧いただけます。

一 般 質 問 一 覧

	議員名	質問事項
1	田代まさよ	1. 国保白鳥病院と和良診療所について
2	長岡文男	1. 今後の災害避難所の在り方等について 2. 生涯スポーツの取り組み等について
3	三島一貴	1. コロナ禍により今後の観光施設について
4	原喜与美	1. 市内山林の本格的な整備推進について
5	森喜人	1. 誹謗中傷、偏見差別、いじめについて 2. 新型コロナ禍中の企業の状況、求人状況は
6	野田勝彦	1. 学校における新型コロナウイルス感染対策は 2. コロナ禍の下での経済的弱者の実態と支援は 3. PCR検査の抜本的拡充を求める
7	田代はつ江	1. ふるさと納税の返礼品 2. 「置き勉」について 3. 来年度予算の取り組み 4. ゴミ問題

	議員名	質問事項
8	美谷添生	1. 道路整備と地域振興 2. 農地政策
9	清水敏夫	1. 明宝特定地域づくり事業協同組合設立支援を 2. 郡上市版スノーリゾート形成事業の姿は 3. 令和時代の市を取り巻く道路網整備構想は
10	本田教治	1. 「道の駅」について 2. 「郡上市地域公共交通網」について 3. 「防災」について
11	蓑島もとみ	1. 人工林の危険性 2. 郡上の山林の姿
12	田中やすひさ	1. 新型コロナ対策について
13	田中義久	1. 災害時の避難所運営について
14	森藤文男	1. 豪雨災害における「連携」について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

問

国保白鳥病院と

和良診療所の今後の方針は

白鳥病院事務局長

総合診療医を中心とし、在宅

医療、回復期機能を有した病床へと転換



田代 まさよ

川尻白鳥病院事務局長
国の医療法改正に基
づき、岐阜県におい
ても平成28年に岐阜県地
域医療構想が策定され
た。その中で当市が位
置する中濃医療圏の令
和7年度のあるべき姿
として、病床機能ご
との必要病床数が策定さ
れた。

平成29年の病床数に
対し、市の急性期病床
が167床過剰、回復
期病床が111床不足
すると予測された。白
鳥病院は回復機能を中

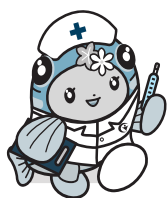
心として、市民のみな
さまの地域での生活を
医療の面から支える役
割を担うため、機能を
急性期から回復期へと
転換した。このことは
白鳥病院を将来にわた
り継続させるための取
組であることをご理解
いただきたい。

長年勤務された先生
方が定年をむかえられ
一部臓器専門医が不
在となり、心配をおか
けしたが、いままで通
りの医療を提供してい
るので、安心して受診
してもらいたい。

和良診療所の体制に
ついては、医師の働き
方改革を進めるにあた
り、和良地域には市消
防東詰め所があり救急

体制が整っていること
など総合的にみて、夜
間休日の診療を中止し
た。へき地医療の体制
を守るための判断であ
ることにご理解を賜り
たい。

白鳥病院は総合診療
医を中心に、在宅医療、
回復期機能を有した病
床へと転換することで
役割を明確にし、和良
診療所、高鷲診療所な
どの公立診療所との連
携を強化し、へき地医
療を守りながら地域に
必要な医療介護を提供
する医療機関として存
続していきたい。



長岡 文男

避難所トイレの洋式化は

総務部長

避難所としている体育館に最低男女
各1か所ずつ「洗浄機付き洋式便座」を設置する

避難所の運営方針は

コロナ禍において避難
所の定員数、衛生環境(洋
式トイレ化など)や、「三
密」を避けるための具体
的方策はどのようなよう
か

古田総務部長

指定避難所の三密を回
避するために、収容者数
を概ね3分の1に見直し、
感染症対策として、仮設
救護パーティションを配
備する。

また、市内ホテルや宿
泊施設を避難先とするこ
とができるように、市独自
の新たな協定締結の準備
を進めている。

生涯スポーツ振興は

生涯スポーツの推進に
どのように取り組まれて
いるか。また、大会時な
どに地域の方が応援した
くなるようなスポーツ施
設周辺の環境整備は

佃教育次長

例として、スポーツ推
進委員が地区公民館活動
と連携しながら、ウォー
キングやトレッキング教室
などを開催したり、総合
型地域スポーツクラブ(郡
上ブルーススポーツクラ
ブ、スポーツフラッグG)
が、教室やレクリエーシ
ョンなどを実施している。



避難訓練の様子 明宝体育館

提案にあるよ
うな、デジタル
掲示板や、観戦
のための観客ス
ペース、スコア
ボードの整備につ
いては、大会など
による施設の利
用状況を踏まえ
ての研究課題と
したい。

問

本市にある道の駅施設の今後を どのように考えているか



三島 一貴

市長 本市に訪れてみたいと思ってもらえるように
整備していきたい



道の駅長滝裏の一級河川「長良川」

「道の駅白山文化の里長滝」の周辺整備計画は
可児商工観光部長

河川の整備計画は現在
ない。今後河川管理者の
意向を踏まえ、検討して
いくことも必要であると
考える。白山文化につい
ては、より多くの方に身
近に感じてもらうよう取
り組みを考えている。

中部縦貫自動車道開通
に向けた道の駅の連携な
ど大野市と本市の取り組
み予定はあるか

商工観光部長

具体的な取り組み内容
は検討中であるが、市内
の農産物、特産品の設置、
観光情報の提供などが考
えられ、今後郡上市観光
連盟とともに検討を進め
ていく。

濃飛横断自動車道の建
設が決定されたが、「道の
駅和良」の改修工事な
ど計画はあるか

商工観光部長

現段階では建設を見据
えた改修工事などの具体
的な計画はないが、今後
の観光動線や和良の地域
振興に効果的な改修を
検討していく必要があると
考える。

最近改修工事など行っ
ていない施設をどのよう
に考えているか

商工観光部長

地域振興施設としての
在り方、地域の要望に合
わせた改修・修繕・管理
運営について地域の振興
事務所などとともに検討
していく。

日置市長

道の駅は、今進めてい
る小さな拠点とネットワ
ークの機能を担う重要な
施設と位置付けられるの
で、その事も踏まえなが
ら整備をしていきたい。

問

災害の起因となる 放置された人工林の対策を伺う

農林水産部長

山林に関する各制度や税を活用
し災害に強い山づくりを進めていく



原 喜与美

市内の山林の50%を
占める人工林が、木材
価格の低迷から充分な
管理がなされず、密植
状態で下草なども生え
ず、樹木の根張りも悪
く倒伏しやすい状況と
なり、大雨などによる
土砂崩れの要因となっ
ている。

全国的にもこれらの
人工林がもたらす災害
が多くなっている。
山林所有者の山に対
する意欲が希薄になっ
ている現状を踏まえ、
市内の人工林の早期整

備が課題であるが、市
の対策は

五味川農林水産部長

市では様々な施策を
講じ人工林を含む山林
全体の保全整備を進め
ている。山林所有者の
意欲の低下にも対応し
「森林経営管理制度」
を活用して、市内2地
区で集約化を図って事
業を進めている。

原則的には平成22年
3月策定した、郡上市
山づくり構想に基づき
「安心・循環・活力」を
キーワードに「災害に
強い山づくり」など8
項目の基本施策を進め
ていく。

また、森林の整備に
ついては①木材生産林
と②環境保全林に大別



大和町奥田洞谷の土砂くずれ

し、木材生産林は林業
事業体を中心に造林、
保育、販売を行い将来
的にも山林としての生
産機能を維持する。
環境保全林は災害リ
スクの高い森林を優先
し、森林経営管理制度
や森林環境譲与税を活
用した事業により、森
林の状態をしっかりと把
握した上で間伐などの
保育管理を実施し、針
広混交林化を図り災害
に強い山づくりを進め
ていく。

問

新型コロナウイルス感染症に係る、誹謗中傷・偏見・差別・いじめを避けるには

市長

誰もが、感染してもおかしくないという、想像力、共感力、思いやりが大切



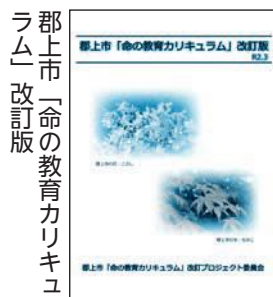
森 喜人

学校現場で、コロナ禍や地球上で起きている様々な差別について、どんな教育をしているのか

熊田教育長

命と人権を大切にすることは、学校教育の根幹をなし、教科・道徳・特別活動などすべての領域で指導されている。

例えば、中学校社会科公民分野では、人権と共生社会の単元で、部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・



郡上市「命の教育カリキュラム」改訂版

朝鮮人への差別、男女平等、性の多様性への理解、障がいのある人への理解、在日外国人への理解など、具体例を挙げて学習が進められている。

令和2年3月、「郡上市 命の教育カリキュラム改訂版」を作成した。これは、全国的にも先進事例の一つであり、市の教育が、命と人権を何よりも大切にしているあかしである。

市民に対しては

日置市長

岐阜県では9月1日、ストップ「コロナハラスメント」宣言を行い、呼びかけを行った。今後、市内で感染確認されても、誹謗中傷などが起こらないことこそ郡上を真に誇れることであり、地域の品格、品性の高さを示すものとして信じる。こうした心構えを持つていただくようお願いしたい。

明宝・高鷲の自治会連合会、地域協議会の皆さんがストップコロナ差別の呼びかけを行って下さっている。大変ありがたいことで、今後も共に市民に呼び掛けていきたい。

...

問

学校における
新型コロナウイルス感染症対策は

教育長 市は感染レベル1で、机間1mを目安に全員で授業を行っている



野田 勝彦

感染防止を考慮した場合、学級人数は最大何人か。また、将来30人の少人数学級が実現した場合、学級数はどうなるか

熊田教育長

感染レベル3では20人程度にする必要があり、それを超える学級数は小学校34、中学校29あり、分散登校も必要になる。

今年度、30人を超えて二分割を必要とする学級は、小学校4、中学校15の学級がある。

大和町において小学校統合の議論が進んでいるが、仮に定数30人とした場合の学級数は

教育長

予測では1学年の児童数53名が最大で、各学年2教室、全学年では12教室で対応できる見込み。



標語を掲げて頑張る

コロナ禍での経済弱者の実態と支援は

「ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業」の執行状況と、生活保護の申請状況はどのようなか

和田健康福祉部長

対象191世帯に1249万円支給。コロナ禍で収入が減少した人への追加給付は、80世帯へ400万円支給。

生活保護は、今年1月〜8月で相談件数16件、認定9件。その内、コロナ禍が原因は1件。件数は対前年でも横ばいで、増えていない。

市独自のPCR検査を
コロナ感染防止対策として、市独自の検査体制を整備すべきではないか

日置市長

市は独自の政策に依えられる検査体制を持っていない。検査の必要性や有効性があるか検討すべき。今は県の検査体制の充実を求めている。

問

プラごみを可燃物として収集するようになったが実施後の状況は

環境水道部長

削減額は

全体で2,876万6千円の見込み



田代 はつ江

皆さんに分別のご努力をいただいていたプラごみが、本年4月より可燃物として出せるようになった。この検証と課題は猪俣環境水道部長

8月末の検証では1kgごみを焼却する際の助燃材（灯油）の削減率が14.1%、電気使用量の削減率が8.7%である。プラごみ分別収集が不要になったことで収集委託費も削減され、昨年度ベースで換算すると合計削減額は2876万6千円見込まれる。分別の変更により発生した問題も特になく、処理工程の減による雇い止めも発生していない。

コロナ禍をふまえ、お墓掃除、お墓参り代行サービスをふるさと寄附返礼品としては。

また、特色ある新たな返礼品はあるか

河合市長公室付部長
コロナ禍の中、感染拡大防止や高齢・体調不良

などの理由で墓参りができない人に向けて「お墓参り代行サービス」を返礼品とする自治体が増加している。市としては節目、節目に郡上へお越しただきたいとの思いを持っていくが、今後、返礼品への登録を検討していきたいと考えている。また「新しい生活様式」を視野に入れて返礼品の開発・拡充に取り組んでいく。

5月からは『ふるさと郡上の「ストッップ新型コロナ」を応援！』というメニューを加え、返礼品のないコースも設けた。

8月17日までにこのメニューに寄付いただいた472万円は、コロナ対応に尽力いただいている放課後児童支援員や、保育士等への特別感謝金の給付事業へ充当させていただいた。



問

中部縦貫自動車道の進捗は

建設部長

大野ICと和泉IC間が

令和4年度までに開通見込み



美谷 添 生

白山中居神社・朝日線の未改良区間の計画と今後の取り組みは
小酒井建設部長

岐阜県側の延長は5.3kmで、未改良区間は2kmである。

日置市長

中部縦貫自動車道が伸びて来て和泉まで開通するのが目に見えており、白山中居神社・朝日線の改良が課題になっている。

福井県のご理解・ご協力・ご尽力も必要になってくる。市も熱意

を持つて今後とも要望していきたい。また、大野市とは、議会もだが友好的な関係にあるので連携して取り組んでいきたい。



白山中居神社・朝日線

農地所有は

市内農地の総面積、平均所有面積は。また農地取得の要件は取得後の面積が30aとなっているが、その根拠と今後見直しの可能性は五味川農林水産部長

現況農地は3414ha。一人当たりの保有

面積は約2621㎡。30aの要件は法令基準に従い農業委員会で定めている。

市長

戦後農地改革がされてから、あまり零細な農家を作らないという配慮から、こういった基準が設けられていると理解している。

本市においては、田舎に住みたいといった方で農地付農家住宅を取得される方については1㎡の農地でも住宅とセットであれば取得できる制度に現在はない。農地所有の状況は変遷していくので、農業委員会で適切に議論していただければと思う。

問

市スノーリゾート形成に

高鷲・明宝を結ぶ道路構想を

市長

今後市の発展に必要な道路網、

実現の夢を描きながら進めたい



清水 敏夫

もに進めたい。

小酒井建設部長

質問の道路については、平成29年度に県と市が協働で「郡上市幹線道路ネットワーク構想」を作成した。このルートは、将来的に効果の期待が持てる理想的なルートと思う。

しかし、膨大な事業費が見込まれ、整備の困難度は高いルートであるが、市北部の横軸とともに各地域を結ぶ環状的なルートとして長期的な観点で、今後も調査・研究を進めていきたい。

日置市長
高鷲地域と明宝地域を結ぶ道路は、数年前慶応大学の米田雅子先生が提唱の「異種の道ネットワーク」に該当し、スノーリゾート構想の中でも、今後いろいろな構想を考えると必要な夢のある道路と思う。新規の道路投資が、老朽化する道路の維持補修に経費が掛かる中で、実現しにくい「構想無くして実現は無い」ので夢を描きながら皆さんと



本田 教治

郡上八幡に「道の駅」の開設を

市長

国土交通省の「道の駅」と、小さな拠点ネットワークの両面から調査研究をしていきたい



地域活性事業・軽トラ朝市風景

観光・小さな拠点づくり両面からでも、郡上八幡に「道の駅」の開設が必要では

可児商工観光部長

道の駅の役割が、通過する道路利用者のサービスから、現在は道の駅自体が目的地になっていることから、「地方創生・観光を加速する拠点」として調査・研究を行いたい

郡上地域公共交通網は

もっと高齢者・利用者に寄り添った体制を

日置市長公室長

昨年度の市のバス運行経費は約1億7900万円、一般財源より約1億3500万円補っている

る状況である。国からの補助金もバス増便などにより一便あたりの輸送量が基準を下回るとさらに減額となる。

持続可能な公共交通としていくため、今後も利便性を高めると同時に多様な利用方法の提案などにより利用促進を図る。

災害発生場所の確認方法は

災害箇所の、迅速かつ適切な対応・把握の為に、自治会長・地区長がスマホアプリLINEで災害箇所の画像提供ができませんか

古田総務部長

LINE画像活用は可能である。現在大和消防団で行っているが、情報を受ける災害対策支部があまりにも多くの情報源では負担が増えるため、当面は消防団に限定して運用し、その中でどのような形態が適当であるか研究していく。

問

災害の要因となっている 手入れされない人工林に対する策は

農林水産部長

早期に森林環境譲与税を財源として
対処していきたい



秦島 もとみ

人工林が要因となった大きな災害は全国で現実のものとなっている。90%が山林の当市にあって危険な林に対する策は立てられているのか

五味川農林水産部長

特に危険性が高い山林は、保安林に指定され県がしっかりと管理、監督をし安全性を保っている。

また、市は民家の裏山の急斜面で手入れ不足の森林が多く存在する箇所を主体に、森林所有者の意向調査を行い経営管理権を取得し森林整備を行うっていく方針である。

当市の山林は「観光立市郡上」の最も基本的財産であり、資源であり、住民生活にとって安心安全の基礎である。

自然環境との付き合いは長い年月を要し、初步を誤ると長く未来に負の遺産を残すことになる。現在当市にはかつて植林されたスギ、ヒノキを年間5〜10万立方メートル

活用してくれる企業が来ており、当市の豊かな自然を再生する最良の機会と考えている。

人工林に伴う災害の防止策として、また、各谷川、里山の美しい自然美を取り戻すため、そして何より長良川の清流やそこに棲む多種の生物達を守り育てるためにも広葉樹の森は価値を持っているのではないか。

市長は市の山林の未来の有様をどう描いておられるか

日置市長

まず、災害に強い安全な山であり、生物の多様性をしっかりと包含できるバランスの取れた山林づくりを実現させたい。



問

市内で新型コロナウイルスの 感染が確認された場合の対応は

健康福祉部長

今後の感染拡大状況により、
医師会と更なる協議をする



田中 やすひさ

医療体制は

和田健康福祉部長

県においては県内すべての感染者が自宅待機者ゼロの方針で入院又は宿泊療養施設に入所できるよう、十分な病床、宿泊療養施設を確保している。感染者の受入れ可能病床数は、最大で重症者を含み病床625床、宿泊療養施設466部屋を確保している。

郡上の市民だから郡上市内の医療機関で療養するのではなく、県

医師会と更なる協議をする

全体で療養環境を整えている。万が一感染した場合でも安心して療養していただける。

また、市内の医療機関の協力体制については郡上医師会において市内4病院、県、市と共に調整会議を行い、市内でまん延が起った際の協力体制について、合意を得ている。今後の拡大状況により、更なる受け入れ、協力体制について医師会と協議をしていく。



市民病院設置の体温計

福祉施設は

健康福祉部長

デイサービスなどの

通所施設については、感染者発生後、一定期間は施設が閉鎖となる可能性が高いことからその間の対応はデイサービスの職員が利用者の自宅へ訪問してサービスを提供する。

特別養護老人ホームなどの入所施設においては、さまざまな対策をとりながら、サービスを提供を継続する。

また、県により高齢者や障がい者の入所施設への感染症対策の専門家の派遣の仕組みが構築されたので、予防対策や発生時の拡大防止対策などの知識を深めて、不安を軽減するような取り組みも進めていく。

問

避難所の円滑な運営と

自主防災組織の強化は

市長

避難所は現場や備品を確認し、必要に応じて丁寧な運営説明会を持ちたい



田中 義久

災害が頻発する中でより良い避難所を運営する必要がある。市として今年7月豪雨時の避難所を総括・反省のうえ、改善を求めたい

古田総務部長

7月は最大時で68か所の避難所を開設。146世帯330人が実際に避難された。

地域防災計画と避難所運営マニュアルに差異が出てきたので見直しを行う。自治会等の地元が主体となって運営していただけるよう

に年度当初の自治会長や防災訓練において避難所運営をしっかりと伝え、ケーブルテレビでも周知する。自治会役員交代時の引継ぎには避難所運営の項目を加えていただくようお願いしていく。

本市には180人を超える防災士資格取得者があり、防災士会に73人が入会されている。その知識や技能を地域で生かしていただく仕組みを考えることが大事ではないか

総務部長
自主防災組織の強化は重要な課題であり、自治会に防災士取得を勧奨し、防災士を自主防災組織の中で位置付

けていただくことなどを啓発していきたい。

ここまでの総括と、予備自衛官制度のような形で「非常勤地区防災主事」を任用することについてはどうか

日置市長

年度初めの説明会は必要により施設まで出て丁寧に行いたい。施設の防災備品管理は施設管理の責任のある方にしっかりとお願いしていく。非常勤職員の任用は、まずは自治会長や自主防災会長さんとその仕事を担っていただくようお願いしたい。

避難所



.....

問

豪雨災害における市と県 または国との「連携」は

建設部長

「所管の範囲」を踏まえ、都度、調整を図り対応している



森藤 文男

近年の異常気象は「恒常化」の様相で、災害はいつどこで起きてもおかしくない状況である。

平成30年7月豪雨災害や台風21号は、県内で初めてとなる「特別警報」も発表され、市内でも多くの甚大な被害が発生したことは記憶に新しい。

土砂災害、河川災害時に市は、県または国とどのように「連携」をして市民の安心・安全に関わっているのか伺う

小酒井建設部長
土砂災害発生時の対応では、災害復旧を行う際の「所管の範囲」が基本的には被災した施設や構造物の管理者が行うので、県の管理施設は県が、市

の管理施設は市が復旧工事を行う。

そのため、都度、県と調整を図り、被災箇所などの現地確認を行い、その施設の所管を判断して対応している。

また、災害復旧範囲や復旧工法について、県からのアドバイスを受けたら、県が行う復旧工事の地元説明会開催の調整や説明会へ同席して情報共有も行っており、県と市が常に連携して、それぞれの責任において対応している。

河川災害への対応は、県、市、及び住民代表の方と危険箇所への対応について共通認識を持つことを目的に、合同巡視を実施している。

また、水防計画に関する県・市合同会議の開催や豪雨対応に関する合同防災訓練も行っている。



大和町奥田洞谷の土砂災害の様子

クイズに答えて 郡上市共通商品券を 「ゲット」しましょう!



問1 12月定例会の開会日はいつでしょうか。

①11月24日 ②11月30日 ③12月9日

問2 学校授業の充実を図るため購入された教材用備品は
なんでしょうか。

①机 ②理科教材 ③跳び箱・マット

問3 令和元年度決算で交付税は全体でいくら減となったでしょうか。

①1億8865万円 ②1億3365万円 ③1億5565万円

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

また、郡上市議会や議会だよりに関する皆さまの声も是非お寄せください。クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。

当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。お寄せいただいたご意見については、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

締め切り:令和2年11月25日(水) 当日消印有効

※ご応募いただいた個人情報は目的以外に一切使用いたしません。

表紙写真説明



今年、高鷲小学校では、運動会に替わる行事「タカダンスフェスティバル」(通称:タカダンス)を6年生が企画し、実施してくれました。

今は、11月13日に向けて、教え合ひながら楽しく練習をしています。

当日は、自分たちでデザインしたTシャツを着て、体育館いっぱい躍動感ある姿を一人ひとりが表現してくれるでしょう。

わくわく楽しみです。

広報広聴 特別委員会

委員長 野田勝彦
副委員長 本田教治
委員 清水敏夫
委員 森藤文男
委員 田代まこと

令和2年は、新型コロナウイルス感染症対策で、世界中が必至にその対応に取り組んでいます。郡上市も、3月

以来、みなさんと心ひとつに、このコロナ禍を乗り越えたいと思います。

清水 敏夫

編集後記

4年ぶりに市議会だより編集の一員となりました。

64号から新人議員さんも参画、印刷会社も白鳥印刷さんに代わり、「紙面が変わったね!」とお声もいただきました。みなさんのお声をバネに、さらに読みやすい議会だよりとなるよう努力しなければなりません。

9月議会までに総額56億円(国の特別定額給付金41億円含む)の予算を議決しています。

コロナ感染を予防しながら生活する「ウィズコロナ」の時代です。市は、今後とも一人ひとりが密を避けつつ、相手を思いやることや、医療従事関係者に感謝の心で「コロナ差別STOP!」を呼びかけていきます。



12月定例会の予定

月 日	曜日	会議の内容
11月24日	火	議会運営委員会・全員協議会
11月25日	水	総務常任委員会協議会
11月26日	木	産業建設常任委員会協議会
11月27日	金	文教民生常任委員会協議会
11月30日	月	開会・議案説明
12月1日	火	予算特別委員会・本会議
12月9日	水	一般質問
12月10日	木	
12月11日	金	
12月14日	月	総務常任委員会
12月15日	火	産業建設常任委員会
12月16日	水	文教民生常任委員会
12月22日	火	議会運営委員会
12月23日	水	閉会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間は変更になる場合があります。